

第 1 回 酒田市総合計画未来会議 参加者一人ひとりのキーワード

～ ワークショップのテーマ ～  
 未来の酒田市がまわりからともうらやましがられているとしたら、どのようなまちや暮らしになっているのでしょうか。

分野	期待される未来像	その他のキーワード	
		強み（資源）	弱み（課題）
ひとづくり・まちづくり (総務・まちづくり・市民交流・芸術文化スポーツ・教育)	若者の定住 活気のある街 人が生き生きしている 世代間交流があるまち "人材育成 個性を伸ばす 子供が自己選択 自己決定して未来を！ (学校選択・職業・小中学校)" 活気のある市 若い人が元気！！ おもてなし 人 流れ "住民が「住んで良かったなあ」 観光客が「来て良かったなあ」と思える町" 信じ委ねる力 挑戦する力 若い力 市民が主体でチャレンジできる場所がある 三世代でイキイキ暮らせるまち 人と話せる場があるまち 自然豊かで若い人もお年寄りも仲良く暮らせる ところ 老若男女 誰とでも笑顔で話し合える みんながいきいきしている 自分の住んでる街が好きの人がたくさんいる 本当に酒田を愛している人が多い！ 酒田に住む人が「酒田」のことを愛してる… 80%のひと 酒田を本気で好きな人が多い イキイキ 酒田が“好き”という気持ち いろんな人 × 楽しめる 選挙投票率 90%！ 違う世代と一緒に住める つながり 庄内弁を全国に広める 酒田の昔からある物を後世に残す	庄内弁 遊び心！ にぎわい！！	
市民生活 (健康福祉・公益活動・防犯防災・環境衛生・上下水道・公園)	安全で住みやすい町 世代間交流があるまち（再掲） 歩いて回れる暮らしやすい街 自給自食できる町 三世代でイキイキ暮らせるまち（再掲） 自然豊かで若い人もお年寄りも仲良く暮らせる ところ（再掲） 安心して幸せを実感できる酒田 災害に強い町 災害の心配の無い生涯この町に住んでいたいと思える町 違う世代と一緒に住める（再掲） 活力がある住みやすい街	鳥海山・夕日・海などがきれい	

分野	期待される未来像	その他のキーワード	
		強み（資源）	弱み（課題）
産業交流 （インフラ・農林水産・商 工観光）	港の活性化 自然を生かしたのびのびとした姿 酒田ブランド 豊かな自然を生かした酒田 観光しやすい町づくり 酒田港の活用・拡大 おいしくて安全な「食」 住む人にも、来る人にも食 観光資源としての「食」 港（海）の発展 自然豊かで若い人もお年寄りも仲良く暮らせる ところ（再掲） 酒田に帰っても働き続けられる "港町として発展してきた歴史施設整備（楽しめる）駅前"	自然が豊かで食べ物がおいしい 海がある 食料・エネルギー 海がきれいで魚がおいしい！！ 環境がいい 美しい景色 おいしいご飯 自然に恵まれている（食・水 etc …） 海が近い 魅力的な港 ラーメンを P R	食べ物などの P R 交通が不便 働く場 仕事をもっと増やす（選択肢をも っと増やす） 中町の活性化 大手企業 遊び場 酒田は食べ物、場所、いろいろ有 名なので P R もっとする 中町に人が少ないため大きい駐車 場をつくる 夜歩けるように明かりを増やす
その他 （全体に関するものなど）	個性・人気があること 選択肢（仕事・遊び・個性） 選択肢（仕事・教育など子供のためのもの、卒業 後の進路） "住民が「住んで良かったなあ」 観光客が「来て良かったなあ」と思える町"（再 掲） "ここにしか無い"ものがある酒田 県外へ行っても戻ってきたくなる町 若い人が遊び、仕事し、安心して暮らしていける 地元の人が安心して住めて外から来た人もむか えてあげることができる 戻ってきたくなる町にする	何でもある 実は酒田には何でもある！！ 豊かな潜在資源 気づき 酒田ではいたって普通のことでも、他の県では珍しい	まずは知ること、知らないことが 多すぎ 絵になる場面が少ない 宣伝力 「住みたい」「訪れたい」と思わせ るような情報発信 歩いて行ける店を増やす LINE や Twitter など使う

## 第 2 回 酒田市総合計画未来会議 参加者一人ひとりのキーワード

## ～ ワークショップのテーマ ～

## ① 酒田の「いいの～」は何ですか ② 酒田の「あんべわりの～」は何ですか

## 「いいの～」の中から「もっと伸ばしたいこと」

(注) 参加者 1 人につき 1 つずつ記載したものです。ただし、1 つ以上記載した方もいたことから、キーワード数と参加者数は一致しません。また、できる限り参加者が記載した内容のまま掲載しています。

## 【自然・景観に関すること】

- 眺めるだけで心が晴れる自然 ○自然環境が良い (海・山・川・平野) ○自然の豊かさ ○豊かな自然 (海・山・川・滝・動物)
- すばらしい景色 ○酒田の自然をもっと PR! ○山・川・海 (飛鳥含み) ○自然が近くにたくさん ○美しい自然をもっと豊かに!
- 酒田の食べ物と自然との関連付 ○自然 ～食材・景色～ を更に良く ○自然豊かなところを生かす ○自然の良さ
- 身近に自然がいっぱいある、休耕田 (田んぼ) や畑をうまく活用し、上手く PR していく。楽しんでもらう。 ○自然 ○豊かな自然
- 酒田の豊かな自然をアピール ○すばらしい景色 ○庄内平野、鳥海山、日本海 (酒田の自然) が楽しめる道の駅 ○環境・自然の良さ
- 自然を守っていききたい ○自然整備～夕日等をみるスポット～ ○夕焼け ○最上川の活用 ○山・海・川・滝・歴史 →観光 PR
- 豊かな自然 (海・山・川・滝・動物) ○酒田の自然をもっと PR! ◇文化 (食・自然など)
- ◇いいもの、うまいもの、自慢できるもの、いっぱいある→絞れない 食べ物、自然の良さを外へ発信していく (市民あげて)
- ◇食・自然 (決められない) →情報発信を伸ばす ◇自然の豊かさ、食べ物のおいしさなど、市民でよさを共有し、外にももっとアピール
- △日本列島の中で、海あり山あり大河ありの恵まれた自然条件と、それでも自然災害が少ないという事実をもっと上手に広報する

## 【「食」に関すること】

- おいしい食べ物 ○食文化 ○ラーメンのおいしい店がたくさん ○酒田の食 ○おいしい食べ物があること
- 果物がおいしい ○おいしい食べ物を宣伝したい ○食の豊かさの発信 ○美味しい食べ物 (PR) ○食べ物 特にラーメン
- おいしい食材の活かし方 ○食べ物 ○食べ物の特産品をもっとアピール ○酒田のおいしい食べ物を外に PR すること
- 食べ物が豊かでおいしい PR、発信していく ○ラーメン王国 ○食べ物が豊富 美味しい ○食べ物がおいしい (ラーメン・果物)
- おいしい水でもっとおいしい! もっと宣伝! ※上記◇にも記載あり。

## 【観光に関すること】

- 酒田独自の観光・食 (再掲) ○観光 ○つりスポットとして人を呼び込む ○観光資源がある ○観光資源がある (PR)
- 観光資源がたくさんある ○観光施設が多い ○名所がたくさんあるので、ひろめていきたい ○観光資源の活用
- 諸施設 (美術館・倉庫 etc) の活用と観光 PR ○北前船の寄港地と芭蕉「おくの細道」を観光に活かすべき
- 歴史ある。ストーリー観光客にも ☆クリーンエネルギーを活かした (だしに使った) 観光集客
- 山・海・川・滝・歴史 →観光 PR (再掲)

## 【歴史・伝統・文化に関すること】

- 歴史的建造物が多い ○希望ホール、土門拳写真館 ○歴史文化 ○黒森歌舞伎を PR しよう。まず関心を持とう。
- 黒森歌舞伎! ○酒田祭りをもっと全国に PR して、夏の花火を最大限に知ってもらおう ○歴史ある。ストーリー観光客にも (再掲)
- 美術館が 3 つもある。すごい! (酒田市美術館・土門拳写真館・本間美術館) ○歴史のある町 ○山・海・川・滝・歴史→観光 PR (再掲)

## 【港に関すること】

- 港町 ○酒田港 ○港 ○県内唯一の貿易港。物流だけでなく、大陸 (世界) との人的交流を伸ばしたい。
- 酒田港周辺のインフラ整備 →酒田港を第 2 の玄関港に ○港をもっと有効に活用し、酒田を活気づけたい。
- 良い港があるので、港を活用し、海外とのつながりを深めたい。→交流・産業の発展へ

## 【くらしや防災に関すること】

- 住の充実 ○るんるんバスを利用できる。 ○キレイで楽しい公園 ○安全と豊かな生活の場として定住者を増やす
- 災害が少ない (安全・安心な街) ☆エネルギー・水・食料の自給自足→防災都市化
- ☆エネルギー・水・食料他、自給自足が可能なポテンシャルがある。 ※上記△にも記載あり

## 【東北公益文科大学に関すること】

- 公益大と協力したまちづくり ○公益大×行政、公益大×市民 ←コラボ

## 【エネルギーに関すること】

- 自然を利用したエネルギー開発 (風力・太陽光・波力) ○エネルギーの自給自足をもっと向上させる ※上記☆にも記載あり

## 【米に関すること】

- 米づくりが盛んであること ○種まきじいさん、庄内平野は米どころ→小学校の教科書、PR

## 【人や教育に関することなど】

- 郷土愛 ○人の優しさ ○チャレンジする意欲 ○総合計画などへの市民参画 ○あんべわりのを改善する為の受け皿を作っているところ
- 交流・共有 →いろいろな人・もの・こと集まればもっとステキに! ○種まきじいさん、庄内平野は米どころ→小学校の教科書、PR (再掲)

**「あんべわりの～」の中から、「これは解決したいこと」**

(注) 参加者 1 人につき 1 つずつ記載したものです。ただし、1 つ以上記載した方もいたことから、キーワード数と参加者数は一致しません。また、できる限り参加者が記載した内容のまま掲載しています。

**【交通に関すること】**

- 交通 ○交通の便 ○交通の便 ○交通の便 ○交通の便 ○交通網 ○交通手段 ○交通が不便
- 公共交通 ○公共交通機関の充実 ○公共交通機関の充実 ○交通アクセス ○交通アクセス ○交通アクセス
- 交通アクセスの不便 ○交通の便（電車・バス） ○交通機関の不便さ
- 交通の便を良くする ○交通の便をよくする ○交通の便を良くする（高速も近隣も） ○公共交通 来易い・動きやすい
- 交通網の便利さ ○交通網をもっと広げていくこと（バスの停留所増やすなど…）
- 移動手段の選択肢をふやす ○人が自由に移動できる街 →バス・自転車・徒歩 ○車に頼らず生活できる環境
- バス（市内交通）旧町エリアと市街地の行き来 ○市内交通網（バス等）が弱い
- 見たい所、行って見たい所が離れて点在しているので交通手段、道路整備等の改善を急いだ方が良い
- 雪道せまくなる ○移動する方法が少ないから、バスをもっと利用しやすいように
- 公共交通機関・交通バスなどをもっと利用しやすく。八幡町、平田町、松山町との交通の便をよくしたい。
- 交通の整備（車）電車・空港 ○高速道路延伸 ○交通の改善（船、鉄道、道路） ○交通手段 高速道路・新幹線・空港・駅前・港
- 空港・港・駅・道のつながり ○他域との交通手段をよくしたい ○交通 外から来た人が利用しやすいように
- 庄内空港の利便性（LCC、都市部から、人の増便）○交通インフラ充実 ○交通を見直して酒田に来てもらう、触れてもらう
- 高齢者の交通手段→高齢者にやさしいまちづくり ○交通の便を良くしてもらいたい

**【駅前・中心市街地など街の賑わいに関すること】**

- 駅前・中町の活用 ○駅前 街の顔！！ ○街の中心に安心して気軽に利用できる大きな駐車場をつくる
- 駅周辺の整備・二次インフラ・駐車場・店・学生の居場所 ○駅前に誰でも気軽に暇つぶし、勉強できるスペースを
- 駅前開発を早急に ○開発が市役所主体ではなく、駅前に市民が気軽に立ち寄れるキャンパスを
- 活気が無い駅前周辺・駅裏 ○活気がない ○商店街がさみしい ○街の賑わい ○街中が寂しい感じする
- 暗くて歩きにくい夜の酒田 →歴史的建物やシンボル（港）を積極的にライトアップして夜も散歩したくなる街になって欲しい
- 賑わいのために自然を利用したい ○アニメキャラなどを使ったイベントがあってもいいかも
- 気軽&おしゃれな店ふやそう ○店の前に看板・情報少ない（料金・メニュー等）本日のおすすめとか店外にあるといい

**【交流の場に関すること】**

- 老若男女の交流が少ないので、市民が率先して活動を行い、意見を交流していけるようにする
- 若い人が遊んだり学習できる場所をつくること ○若者が遊べるところがない ○気軽に集まれる場所を増やす
- 子供の遊び場がなさすぎる。他県に流れてしまっている。若者向けの商店なども。 ○人が集う場
- 他地域との交流（部活動の成長）

**【仕事や若者定着に関すること】**

- 生活の基礎となる仕事の場所を増やす ○若者が働き先のことでUターンに不安を感じていること
- 若者が戻ってきやすい環境を整える！ ○若い人の定着 ○人口減少（働く場の創出・公益大の活用）
- 若者が少ない ○若者が少ない 外へ出て行って戻らない

**【観光に関すること】**

- 観光名所がすくない ○宿泊施設 ○観光資源がたくさんあるのにアピール、知識が少ない
- 宿泊 ○地元で有名な物を（観光客↑・若者活性化・地元を知る意識↑）

**【PRに関すること】**

- PR ○酒田のすばらしさのPR
- 情報→インターネット上に「ない」ものは、現実でも「ない」と思われるかも…？
- 観光資源がたくさんあるのにアピール、知識が少ない（再掲）

**【福祉に関すること】**

- 障害者に対する設備を増やして欲しいの ○高齢者の交通手段 →高齢者にやさしいまちづくり（再掲）

**【行政や教育に関することなど】**

- 地元のいいところ知らない ⇒歴史や人にもっと触れる教育・機会
- 文化財が少ない。古いものを大切にしていこう！みんなに気づいてもらえれば。
- 個性がない→行政・公教育（特別な何か、自慢） ○行政にユニークさが欠けている
- 鶴岡市と一体となって庄内を盛り上げる ○鶴岡との連携

## 第3回 酒田市総合計画未来会議 参加者一人ひとりのキーワード

あなたが、これからの酒田市にとって、一番大切にしたいことは何ですか（○…一般、◎…学生）	
<input type="radio"/>	「人」 人が輝くつながり 多世代の価値観の違いを強みに 対話によって引き出す モノ・カネ・情報、最後はやっぱり人
<input checked="" type="radio"/>	「人」中心のまちづくりを！
<input type="radio"/>	老若男女が住みやすい「何となく幸せ」感がある酒田
<input type="radio"/>	市民の一人として市政に参加すること 市民の声を聞き放しにしない、しっかり取り上げる市政
<input type="radio"/>	その人、その人の「楽しさ」を選択できる町
<input checked="" type="radio"/>	市民全員が住みやすく若者も地元の事業に積極的になっていくこと →持続可能な社会（まち）をつくっていく
<input type="radio"/>	人口を増やすこと 皆が楽しく1日を過ごすことが出来る
<input type="radio"/>	持続可能な未来志向のまちづくりをしていきたい！ （例：収入確保、人口流出緩和、定住化）
<input type="radio"/>	人と財源の確保で未来を継ぐ
<input checked="" type="radio"/>	「人の流れをつくる」 移住・定住による人の流れや観光客の人の流れによって活発になれば良いと感じた
<input checked="" type="radio"/>	市民の安全・暮らしやすさ
<input type="radio"/>	人材（コミュニケーション・人づくり）
<input type="radio"/>	ゆとりのある市民生活
<input type="radio"/>	住みやすいと思える環境への支援
<input type="radio"/>	教育 人づくり
<input checked="" type="radio"/>	“人がにぎわう”町づくり
<input checked="" type="radio"/>	酒田市に来る人、住んでいる人にとって「便利だ、素敵だ」と感じられる町でありたい
<input type="radio"/>	子育てや高齢者のいきいきしたまちなど人と人が関わり合うことを重視したまちづくり
<input type="radio"/>	私の生まれ育った故郷としての歴史をふまえた生き生きとした都市
<input type="radio"/>	生活者にとって「易しい町」でありたい
<input checked="" type="radio"/>	幸せに暮らせる市 コミュニティバスが無くても、体育館が無くても、お金をかけずに幸せになれる代替案を！
<input type="radio"/>	“対話”と“相談”の重要性
<input type="radio"/>	納得度の高いビジョン 先を見据えたまちづくり
<input checked="" type="radio"/>	人々のつながりや協力で酒田を元気にしていく
<input checked="" type="radio"/>	市民（企業）との連携（酒田みんなで作る、市が管理しているものを民間へ、ボランティアなどの拡大）
<input type="radio"/>	住み続けたい、あるいは戻ってきたいと思えるまちであり続けること（漠然としてますが…）
<input checked="" type="radio"/>	活気があり市民が触れ合う機会が多い町であること 地域の良い所を伸ばしていく
<input type="radio"/>	住んでいる人たちの健康←心・気持ちを含めて（外からの人とか観光よりもまずは）
<input type="radio"/>	人の動き
<input checked="" type="radio"/>	酒田に観光に来てもらい、魅力を感じ、長くいてもらう（定住）こと

## 第3回 酒田市総合計画未来会議 参加者一人ひとりのキーワード

あなたが、これからの酒田市にとって、一番大切にしたいことは何ですか（○…一般、◎…学生）
<input type="radio"/> 酒田が一番！という気持ち
<input checked="" type="radio"/> 違う立場の人と交流できる場があること
<input type="radio"/> 近隣市町村とのかかわりが見えない政策ばかりだったので、逆に近隣市町村との連携も大切に重要視してほしいと願います
<input type="radio"/> ・個人の生きがい、健康・生活満足度の向上 ・来て良かった街より住んで良かった街へ
<input type="radio"/> 市民の笑顔
<input checked="" type="radio"/> 安心して暮らせる町
<input type="radio"/> 全ての世代が楽しく暮らせる街（を目指す）
<input checked="" type="radio"/> 住民の意見
<input type="radio"/> 働く場の創出
<input checked="" type="radio"/> 市民と文化
<input checked="" type="radio"/> 市民のためと事業の採算のバランス
<input type="radio"/> 先の事（将来）を考えて行動
<input type="radio"/> 住みやすさ これからずっと長くここで住んでいけるかどうか
<input type="radio"/> 酒田市民がここに住んで良かったと感じられることだと思います
<input checked="" type="radio"/> 若い世代が集まりやすい町
<input type="radio"/> 若い世代の育成と町の連携
<input type="radio"/> 行政・企業・市民が一緒になってやっていく
<input type="radio"/> 人が集まる町
<input type="radio"/> 次世代を担う人材の発掘・育成
<input type="radio"/> 若い方の視点を大切にしまちづくり
<input checked="" type="radio"/> 人（酒田市民も観光客なども含めて）
<input checked="" type="radio"/> 多くの視点をもって将来どうしていきたいのか考えながら話し合うこと
<input type="radio"/> 多世代が集い地域のことを考える「場」
<input type="radio"/> 稼ぐこと（収益性のある事業、将来税収アップになりえる事業）
<input type="radio"/> 生活するうえで最低限は維持して欲しい
<input type="radio"/> 「住」 このまちに住んで良かった、住みたいと思えるまちづくり
<input checked="" type="radio"/> みんなが住みやすいところ
<input type="radio"/> 行政と市民の共働のまちづくり
<input checked="" type="radio"/> 次の世代
<input type="radio"/> 人とのつながり

## 第3回 酒田市総合計画未来会議 参加者一人ひとりのキーワード

あなたが、これからの酒田市にとって、一番大切にしたいことは何ですか（○…一般、◎…学生）
<input type="radio"/> 人とのつながり
<input type="radio"/> コミュニティ（人とのつながり）
<input type="radio"/> 未来を創る中心的存在となる若い世代が当事者として必要とされているというメッセージが確実に伝わる街であること
<input type="radio"/> 対話できる場所・機会
<input type="radio"/> 住みよい町づくり
<input checked="" type="radio"/> 今の世代だけでなく、次の世代に「つなげて」いくこと どの世代、分野でも言えるはず…
<input type="radio"/> 市民と行政が情報を共有（公開）すること！
<input checked="" type="radio"/> 市民同士の協力・助け合い
<input type="radio"/> 観光・若い人の考え
<input type="radio"/> 人がたくさんやってくる事
<input type="radio"/> ・文化の継承（衣食住） ・団結心
<input type="radio"/> にぎわいのある街づくり
<input type="radio"/> にぎわい
<input checked="" type="radio"/> 人々が楽しんで住める町
<input type="radio"/> 人の交流
<input type="radio"/> 人と人とのつながり
<input checked="" type="radio"/> 市民が自分たちで行動を起こせる町
<input type="radio"/> 対話・議論
<input type="radio"/> 住みやすい酒田市
<input type="radio"/> 地域の資源の魅力
<input type="radio"/> 花火大会

## 第3回 酒田市総合計画未来会議 参加者一人ひとりのキーワード

まちづくりゲームで ・感じたこと ・気付いたこと ・学んだこと ・大事にしたいキーワード などを書き留めて「まとめ」にしましょう (○…一般、◎…学生)	
○	・知らないことを知る。 ・各世代の視点、わからないこと、それぞれが大切にしていること、対話で引き出された
◎	・「人」のつながり、「人の動き」が重要(キーワード) ・各世代からの視点を大切にしなければならないのでは
○	・検討してみると止めてもいい事業の選択は難しい ・人を大事に経済活性化 方法はあるそう
○	・どんな街にしたいかという点で、「住んでいる市民」の生活を安定したよりよいものにしていきたいということをグループの皆で共有できよかった ・観光を重視することと合わせて、市民の力で市の経済を活性化させるための事業を市には後押しして欲しい ・人づくり、安心して住み続けられる酒田市であってほしい
○	・自分が担当していた部門以外のことも考えながらなので、総合的な視点が必要になると思った ・たった5人のグループでも意見をまとめるのが難しい
◎	・市が進めていく方向性の重要性が分かった ・まちづくりを進めていくに当たって、どのような問題があるのか、市のメリットは何かなど、具体案を市民に示していくのが大切だと思った ・酒田の良いところを市外・県外にも発信していきたい
○	・酒田市の発展のために良い案だと思います
○	・納得、合意して決めたことは後から振り返ってみても正しい選択だったと思える(たとえ酷な選択でも) ・何を切るかよりも何を残したいかが大切
○	・自分の考え・意見とは多数違う人はたくさんいる ・あちらを立てればこちらがたたず。平等が一番難しい
◎	・まちづくりなど、今後の市を考えるうえで、どのような市にしたいかビジョンがはっきりしていないと難しいものだと思います ・酒田のいいところを発見できて良かったです
◎	・限りある予算の中で様々な事業を行うのは大変だと思った ・現在のまちの課題をよく考えて、事業に優先順位をつけなければならないのが難しかった ・自分と違う世代の人の暮らしに必要なことを考えられた ・どの事業も大事!
○	・お金の限りがあるので選択は本当に大変 ・今現在の状況を守るのか新しいことを始めるのか難しい ・何を優先させるべきか市民に現状を知ってもらい一緒に考える、一緒に気付く
○	・生半可には事業は切れない、説明できないので ・いろんな立場の声を聞く必要がある(中高生、三町地域) ・キーワード:話し合いが大事
○	・市を運営するために何かを削らねばならないという選択を強いられ、新しい事業の要望に応えることの難しさを知った ・やはり福祉や支援手当ては削りたくないと思った
◎	・限られた財源の中で残していく事業や新しく事業をするか考えるのは難しいと思った ・また、年代の違う人と話す機会はなかなか無いので良いと思った
◎	・まちづくりでは、現状を維持しつつ、少しずつ確実に変えていくことが必要だと思った ・安全を大事にして必要な事業を選んでいくことが大切だと思った ・1つ事業を廃止する場合は、別の事業でカバーするか、それに合う施策が必要だと思った
○	・市民の皆さんも自分たちでできることは自分でという意識がある ・借金はできるだけしないで工夫をしようという考えは大事だと思った ・意識を浸透させることが大事で時間をかけて丁寧にする必要があると思った
○	・まちづくりに必要な予算を考えるきっかけ ・夢を語ることはあったが、現在行われている事業の改変というリアルなやり方は、いい経験であった。
○	・キーワード「イメージ」 ・まちづくりは「将来の姿」を強くイメージする、行動する ・また、今後は日本の中だけでなく、世界に目を向ける必要がある
◎	・何か新しい事業をするには、何かをやめなければならないということがわかった ・市民は何を望んでいるか考える必要があると思った
○	・さけ田のために大事なことはたくさんある(どれも大事) ・しかし予算には限りがありどれを推し進めるかはメリット・デメリットや先のことを見通して総合的に考える必要あり ・行政で行うことも大事だが、市民一人一人の心がけて解決できそうな部分もある
○	・どれをとっても1つ1つが大事なことで中止することは難しい ・1つの事業だけを取り上げないで、周辺の事業に関連して予算を作ることが大事と思う



## 第3回 酒田市総合計画未来会議 参加者一人ひとりのキーワード

まちづくりゲームで ・感じたこと ・気付いたこと ・学んだこと ・大事にしたいキーワード などを書き留めて「まとめ」にしましょう（○…一般、◎…学生）	
◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人口が減り、税収が少なくなるという悪いループの中に入っていると思う。</li> <li>・その中でいかにお金をかけずに酒田を盛り上げるかが大切だと思った。</li> <li>・今回のゲームでよりわかりやすく現状を知ることができた</li> </ul>
◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい建物&lt;市民との連携、若者の支援</li> <li>・どれも大事な項目だが、将来を考えて取捨しなければならない</li> <li>・市民一人一人の関心・協力が必要</li> </ul>
○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃止する事業の選択そのものも、廃止した理由を説明するのも難しかった</li> <li>・お金（財政）と事業（政策）はいずれか一方ではなく広い視野で考えなければならないと思った</li> </ul>
◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・限られた中で廃止することの難しさが分かった</li> <li>・廃止することで大変な思いをする人もいることを考慮しなければならない</li> <li>・ゲームでなく、実際に廃止するとなったらこれを廃止するというものが無かった</li> </ul>
○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お金には限りがある…いろいろな人がいるから市民全員が大満足はまず無い</li> <li>・やめるとしても代替りの案、知恵と工夫と知識が必要（いろいろな考えを持っている人との話し合いで膨らむかも）</li> </ul>
○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しく話し合いができた</li> <li>・実生活の悩みも出した予算内でやりくりを</li> </ul>
◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民間バスの維持など、まちに残しておきたいものを残すためには事業を何か切り捨てなければならないので優先順位をつけて決めるのが大変だった</li> </ul>
○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・限られた予算の中で要望の中から優先順位をつける難しさが理解できた</li> <li>・現状の生活を守るのに精一杯で、前向きに攻めるための予算が無い</li> <li>・「税収を上げる」という点がゲームに無かった</li> <li>・「まちづくり」は大変。市職員はすごい</li> </ul>
◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業を廃止するのは大変。少ないお金でやりくりする難しさを感じた</li> <li>・他のグループを見ると考え方がちがくて個性が出る</li> <li>・目的（こうなりたい）を初めに設定して、もう一回やってみたい</li> </ul>
○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリジナル政策メニューを出せば良かった。白紙のものを</li> <li>・市民生活には重要な事業がたくさんあるが、財源内で収めるにはどうしても切り捨てなくてはならないものがある</li> <li>・苦渋の選択をしなければならないことが多くあると気付いた</li> <li>・要望：BGMがうるさく感じたことがあった。人が話すときは低くすると良いのでは</li> </ul>
○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少子高齢化の中で社会保障費の増加に対する取組み方の学習ゲームだと思った</li> <li>・決して無理な借入れをせず従来のやってきたことの見直しを優先してやる</li> <li>・必要のないものは民間委託したり経費削減すべき</li> <li>・無借金と見直しの優先順位</li> </ul>
○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ターゲット、柱を明確に</li> <li>・長期的な視点での施策が必要</li> <li>・まちづくりって難しい</li> <li>・庄内地域に住み続けたい</li> </ul>
◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どの事業も必要なものが大半だと思った</li> <li>・市民が暮らしやすい町が大切だと感じた</li> </ul>
○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全ての世代が満足するまちづくりは難しい</li> <li>・将来の世代に負担を残してはならない（残すのであれば返せるような未来にする必要あり）</li> </ul>
◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業を廃止するのは困難でなかなか自分の思うような意見を言うのは大変だった</li> <li>・必要な理由を明確にしないと納得してもらえない</li> <li>・行政について学んでいかないと現状がわからない</li> </ul>
○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の財政を真剣に皆さん考えているし、全ての市民に心を配っていることを学んだ</li> </ul>
◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・借金をしないようにするには町の何かを無くさなくてははいけない。その決断は簡単ではなかった</li> </ul>
◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無くす。→組み合わせる</li> <li>・事業→成果→事業</li> <li>・人へ支援 or 物へ支援</li> </ul>
○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業を継続するうえでも内容の見直しは必要</li> <li>・採算取れるかどうかの将来性が大事</li> </ul>
○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・優先順位と代替案の重要性</li> <li>・人への投資と地域資源の活用の大切さ</li> </ul>
○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町の将来を考えたことが無かったので10年先が楽しみになってきました</li> <li>・人間の現在の年齢によって重要な事の優先順位が変わる事を認識した</li> </ul>

## 第3回 酒田市総合計画未来会議 参加者一人ひとりのキーワード

まちづくりゲームで ・感じたこと ・気付いたこと ・学んだこと ・大事にしたいキーワード などを書き留めて「まとめ」にしましょう (○…一般、◎…学生)	
◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・普通の授業では考えることができない体験でとても楽しかったです</li> <li>・グループの人は若い世代のために考えてくれて嬉しく思いました</li> <li>・5年後、10年後には移住者が増えたときに今回の政策が役に立つといいです</li> </ul>
○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少子高齢化の中でやっぱり若い世代を育てていくことが市を変える1つの方法であると感じた</li> <li>・酒田への移住・定住者が増えることで働き手が増え、人口増加にもつながるので、この政策は良いと思いました</li> </ul>
○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来の世代のための取組みを手厚くすることで住み続けたい、住んでみたいさけ田市になるように心がけた</li> </ul>
○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来、どんな町になっていると住みやすいのかを意識して優先をつけて取組むことが大切</li> <li>・人が集まる町</li> </ul>
○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業廃止の取捨選択は難しかった。要らないと判断したのに悩んだりした</li> <li>・酒田に必要なものが多いこと</li> <li>・班のメンバーの組み合わせが良かった。特に酒田以外からの移住者の意見が参考になった。若い人の意見もハキハキ言ってくれるので良かった</li> </ul>
○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予算編成の難しさ (利害関係の調整、世代毎の意識の違い、収益性の見通し)</li> </ul>
◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全て必要に思えるものばかりで選ぶのが難しかった</li> <li>・若者や高齢者などたくさんの方が住みやすい街になればいいと思う</li> <li>・ぜひこれからも酒田のまちづくりに参加していきたいし、私達がつくらなければと思った</li> </ul>
◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業を廃止するときに考える人の年齢や、どこに重点を置くのかで、考え方や将来像がかなり違った</li> <li>・今の事業も (現実と照らし合わせると) 何かをカットしたり廃止してできているから、もっと大切にして酒田をよくしたいと思った</li> </ul>
○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくりの過程をゲームを通じて考えることができ、市政について考えるきっかけになったので良かった</li> <li>・事業の取捨選択が難しかったけど、対話を重ねて良い計画案ができた</li> </ul>
○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市政の場には若い人の意見の必要性を感じた</li> <li>・お互いが納得することの大切さを学んだ</li> <li>・「対話」「耳を澄ます」こと</li> </ul>
○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あらかじめコンセプトを設定すれば判断しやすいかも！？ (例) 稼げる町、農業の町、未来へ投資する町</li> </ul>
○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・財源が減っていく時代、事業の優先順位をつけるのは大変である</li> <li>・人口減をどうするか</li> </ul>
○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業カードを切るときに、なぜやめるのかの説明が難しかった</li> <li>・人に共感してもらい難しさ</li> <li>・自分の中で何が大事かを話すのも大切</li> <li>・さまざまな人の意見が聞けて楽しかった</li> </ul>
◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民のことを考えて決めることは難しい</li> </ul>
○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・財源を積極的に増やす施策も考えたい</li> <li>・どういう町にしたいか、最初から設定しないと事業の判断が難しい (お金無いから)</li> </ul>
◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・何かをやめればまた別の事業に生じてくることなど、リアルな面があって深く考えることができ良かった</li> <li>・さけ田の課題はやはり観光</li> </ul>
○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間が足りない位、活発に話し合いができた (選択が難しい)</li> <li>・市民の事を考えてどのようにしたらいいかということを考えさせられた (メリット・デメリットを考えるのが大変)</li> <li>・周りとの協力していけば沢山のことができると思った</li> </ul>
○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・費用対効果</li> <li>・市役所に頼るだけでなく、民間企業も自ら面白いアイデアを出して自助努力する！共働する！</li> </ul>
○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議論の時間が足りない</li> <li>・代替案が難しい</li> <li>・箱物の整備は慎重に</li> <li>・コミュニティは大切</li> </ul>
○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単なる削減議論に集約するよりも改善策など建設的議論を生み出せるシミュレーションを希望</li> <li>・縦割りの見方でなく、各分野の掛算による予算執行の効率化も必要ではないだろうか</li> <li>・次世代の可能性を高めるための政策を重視</li> <li>・自助努力で民力がUP</li> <li>・観光振興部長も必要</li> </ul>
○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・何かを残そうとするとひとつを切り捨てる必要 →始める、やめるための想像力</li> <li>・自分達で可能なことを見つける →自主性</li> </ul>

## 第3回 酒田市総合計画未来会議 参加者一人ひとりのキーワード

まちづくりゲームで ・感じたこと ・気付いたこと ・学んだこと ・大事にしたいキーワード などを書き留めて「まとめ」にしましょう（○…一般、◎…学生）	
○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人それぞれの考え方の違い</li> <li>・合理的な理由付け必要</li> <li>・話し合うこと必要</li> <li>・決断すること、選択の判断の難しさ</li> </ul>
◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業に対し、デメリット、メリットを考えて廃止するかしないか考えることの難しさ</li> <li>・事業に対して考え方がそれぞれ違うこと</li> <li>・第1回、第2回とは違った話すことの難しさ</li> </ul>
○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「酒田に住みたい！」（住んでいたい）と思えるまちづくり（人それぞれ願いが違うので大変ですけど）</li> </ul>
○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仮のまちと現実がオーバーラップしてちょっと悩んでしまった</li> <li>・酒田への想いをあまり言えない人もいる。時間配分は厳しかった</li> <li>・様々な立場と視点があるのは貴重</li> <li>・「自助・共助」という言葉は出なかったが・・・根底にあるように感じた</li> <li>・「将来性」をどう考えるか、立場によってかなり違う</li> </ul>
○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業（方向性）を選択（合意形成）することの難しさ</li> </ul>
◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まず自分が地元について全く知らないんだなということを痛感しました</li> <li>・港は全国どこにでもあるわけではなく、観光客を呼び込むための投資の手段としては充分に見込めるのだなと思いました。そんなに港のことを考えていなかったので自分は勉強不足だと感じました</li> </ul>
○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お金の動き・使い方の重要性をどこに置くのか</li> <li>・家庭や事業をどうしたいのか</li> </ul>
○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続的にかかる費用と初期投資の違い</li> <li>・地域内でお金が回ることと、出して終わりの違い</li> <li>・人口の減少と交流人口の増加への取組み</li> <li>・市民の自助努力</li> </ul>
○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シミュレーションゲームを通じて、抱えている問題の多さにびっくりしました。どれも甲乙つけ難く、迷いの多い選択でした</li> <li>・市職員の皆様のご苦勞を計り知ることができ、大きな決断力と実行力無くしてはさけ田市の発展につなげていけないのではないかと改めて気付かされた思いでした</li> </ul>
○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分達で行動しないと全ての事業を市でやるのは無理</li> <li>・①安全な生活維持のための事業②必要な先行投資事業③切れる事業 に分けることが大事</li> </ul>
○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・苦渋の選択</li> <li>・難しかった</li> <li>・未来</li> </ul>
◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1つの事業を続けるためには妥協が必要になることがわかった</li> <li>・人のための町づくり</li> </ul>
○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予算編成・説得力のある話し方の難しさ</li> <li>・事業を削ることの判断のつらさ</li> <li>・自分の部と全体の整合性のとり方</li> <li>・ミクロとマクロの見方</li> </ul>
○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安心して暮らすことができる（健康・仕事）</li> <li>・外へのアピール</li> <li>・悩みました</li> </ul>
◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちができることを市にやってもらっている部分も多いかもしれないということ</li> <li>→市民の自活力がどうなのか</li> <li>・普通に暮らすことに意外とお金がかかる。市に頼らなければならないことも多い</li> </ul>
○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業費支援の多方面に渡っていること</li> <li>・組織の縦割りで事業を行っており、総合見直しが必要と思われる（事業内容の見直し）</li> <li>・人口増対策 官民一体となった運営が必要</li> </ul>
○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の選択が難しい</li> <li>・どのような「まち」にしたいのかという方針が大事</li> <li>・人口減少が進めばさらに厳しくなる。しかし、若い人にとって魅力のある「まち」にしなければならない</li> </ul>
○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の取捨選択→廃止したときの影響設定、代替案</li> <li>・ラウンドを通しての将来を見据えた考え</li> <li>・キーワード 交流</li> </ul>
○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さけ田市を特徴のある町にしようとしたが、普通の町になってしまった</li> </ul>

第4回 酒田市総合計画未来会議 参加者一人ひとりのキーワード (○…一般、◎…学生)

酒田の○○の「いいの」をこうしたい	酒田の○○の「あんべわりの」をこうしたい
◎ 子育て・教育のいい環境が当たり前のようにある	駅前・中心市街地にもっと賑わいを取り戻したい→雇用創出にもつなげられるような体制づくり
◎ 仕事 産業	賑わい 交流
○ 庄内空港 便数・価格 行先	交通アクセス 駐車場 バス
○ 賑わい交流酒田祭りの作り 現在の祭りを新・旧市内で出し物を年内通り各町で製作し参加する	交通 るんるんバス 時間の見直し 高校生が使用しやすいように
○ ラーメンにちなんだイベントを定期的で開催することで地元PR	観光客等の宿泊施設が少ない。空き家等を活用した宿泊事業等ができないものか？
○ 観光 施設多い	交通 地域内交通（デマント）使いづらい
○ 空港 空港をもっと使いやすくしたい	駅前 駅前をもっと活気ある場所へ
○ 湊、農業、漁業 下に同じ 地元のことをもっと知る 酒田産のものを食べよう	若者の就職場所がない（Uターン者）酒田ならではの産業（農業、漁業に付加価値をつけ職を生み出す。大学との研究機関とも連携する）
○ 美術館が3つある もっと入館者を増やしていこう	鶴岡市と連携ない 庄内はひとつという考えで連携して事業に取り組もう
○ 郷土愛はある！酒田は好き！→進学等で外に出て行っても戻ってこれる（Uターン重視）環境づくり 人づくり	人づくり 酒田で生まれ、酒田で一生を終えるには進学、就職の選択肢が少ない→酒田で一生住めるライフサイクルづくり
○ 酒田舞妓 松山能 黒森歌舞伎 その他の郷土芸能の伝承の継続に力を入れているところ	酒田のPRの方法は人材を増やして細やかに配置する（対面方式で）
○ 食材、未発掘→収穫体験をして知ってもらおう。来てもらう。	授乳室が少ない→カーテンのある別室を使わせてもらう。お店の育児サポーターの会的なの作る。お店のイメージアップにもなる。
○ 保育園待機児童なし→第2希望or3？→延長保育は足りている？	外国語教育（ALT）少ない→中・高で時間数を増やす。外国語が少しでも聞き取れる関心を持つようになる。賑わいにつながる。
◎ 食べ物 未発掘の物もいっぱいあるので、どんどん宣伝して多くの人に食べてもらう	PRが足りない 酒田の自然を活用して中高生も中心になってPRしていく
○ 観光地たくさんある。食おいしい。（ラーメンも） →もっとPRして知ってもらいたい。 ①観光して→②食べて→③泊まるの流れができれば	酒田のことを知らない。（観光客に聞かれたが、わからず答えられなかった。） →市民全員がもっと酒田を知ってほしい！
○ おいしい・自然豊かを利用 起業 高齢者と若者をつないでUターン	情報発信が残念 中高生手書きマップを作ってSNS発信すれば？立派でなくてよい。手にとって見たくなるもの。
◎ 自然がキレイ このまま保ち、次世代へ引き継ぐ。よりよいものにしていく。	酒田の良さが知られていない。もっと外部にPRをする！
○ 自然が豊かであること。 観光コースや体験プログラムをメニュー化して広くPRしていく。	観光客に対する市民レベルでの受入体制が弱い。 市民が観光客を”異物”として捉えることなく、優しいだけでない、親切な対応ができるようになる。
○ 港 港お存在、良さを発信して観光・雇用を増やしたい。	交通の不便さ 交通手段の見直し。その土地でも生活（ライフスタイル）の見直し。
◎ 文化や歴史 ・たくさんあるが、知られていないこともあるのもっとPRを！	仕事の情報を与える。 ・先生たちへの指導や説明を行い、高校生に情報を！ ・仕事の（大学→地元・地元校・奨学金）助成があるので伝えてほしい！
○ 観光・産業 ・資源は豊富。	観光・産業 ・資源を活かしきれていない。 ・旗振り役がない。 ・外だけでなく、内へのPRも不足。
○ 酒田に新幹線を早期に延伸して酒田の活性化を図る。	若者が安心して暮らせてないので改善に全力を市民全員が取り組みましょう。
○ 港 ・イベント等の催しをする。 ・客船等の寄港を増やす。	働く場 ・若者に人気の職業を増やす。
○ 酒田まつり ・もっと広範囲で行うことにより、さらなる賑わいがうまれると思う。中心部の一部分でしかしていないと思うので、もっと大部分でできればもっと魅力が強くなると思う。	中心市街地と商店街の賑わい ・お祭りなどのイベントがないと普段はあまり賑わいがないので、そのことについて、今ある建物などを利用して賑わうようにしたほうが良いと思う。
○ 教育・中学生が自治会を学ぶ機会がある。 ・子ども、大人が地域で交流できる機会を増やしていく。 ・地域行事に住民がたくさん参加することで地域が盛り上がっていく。	観光 PR下手 ・建物や景観のストーリーを市民が学び、共有。 ・観光客へひとりひとりがガイドになれるまち
○ 観光 ○ 農業 普段なんとも思わずにしている所がいっぱいあった。米がおいしい、梨もおいしい、自然の中で仕事をすることって良いと思った。	仕事 酒田は給料が安く、県外で仕事をしたがる人が多いと聞いた。若い人たちのつきたい仕事が少ないとのこと。
◎ 酒田港 ・海外に輸出する製品をつくる。企業の工場を誘致する。 ・外国の観光クルーズ船に利用してもらおう。 ・仙台-酒田の陸路を整え、仙台のものを海外へ輸出。	駅前の賑わいがない。 ・駅前に外食ができる店を。 ・コミュニティーポートを完成させて。 ・市民&観光客みんなが利用できるように。 ・駅前にコワーキングスペースを作り、出張で来た大人の人が時間をつぶせる場所を。
◎ 学生と地域のふれあい ・職場体験→体験できる職場を増やす。 ・地域や自治会の行事への参加	バス・電車が不便 ・利用しやすい時間・利用しやすいバス停 ・本数を増やしてほしい！

## 第4回 酒田市総合計画未来会議 参加者一人ひとりのキーワード (○…一般、◎…学生)

酒田の○○の「いいの」をこうしたい	酒田の○○の「あんべわりの」をこうしたい
歴史、文化、風土、景観等、優れた素材の宝庫を組合せ、外へ通えることで発展につなげる。	「いいの」にある情報が意識化、共有されていなく、作り上げるソフトが弱い。
郷土愛 ◎ ・交流の中で郷土愛をさらに育てていくことで、活気がうまればよいと思う。	地域内の交通の便が悪い ・買い物だけでなく、イベントへの参加といった交流を増やしていくためにも移動手段を充実させたい。
○ 地域の人のやさしさ、つながりの適度加減を、維持して戻りたい、続けたい街であり続けたい。	選択肢のなさを生み出す力を強めて埋めていきたい。
ラーメン ○ ・駅、空港に酒田のラーメンの店を出す。 ・夕方まで食事ができるような店を増やす。	観光用レンタサイクル ・閑散期には買い物客に貸し出す。 ・冬場は観光施設をめぐるコミュニティバスを運行させる。
賑わい・交流 ○ ・意見を言い合える、教えあえる町の雰囲気が高。よそより高い。 ・誰でも集まれて、話のできる場所づくり。事業やイベントにつなげられるように。	中心部の賑わいない ・統一感のある店づくり、若い人に受け入れられる店づくり。 ・そういった商店街をつくっていくリーダーの育成
◎ ものがたくさんある。 ・より徹底したPR ・それ (PR) につなげられるような施設・交通の整備	若い人たちが過ごしやすい場所 ・駅前の施設の整備 唯一交通手段がある場所なので・・・
○ 食べ物がおいしい ・セールス、PRしたい。	PR不足、下手 ・どのようなやり方があるか勉強したい。
○ 酒田港と世界がつながって「いいの」	仙台～酒田の流通が「あんべわりの」 例：仙台でつくった車を酒田に運ぶ。そして酒田港から世界へ・・・
○ 酒田港 (湊) 湊から港へ 貿易港と大型客船の港になる。地元商業・工業・観光業などの活性化につながる。	賑わい・交流 ・不振な商店街、空き店舗が増加。
○ 若者 (学生) 中・高・大学生が持つ可能性・能力を地域に還元する。	多様な世代が集まる場が少ない。 市民が気軽に集まる場をつくる
○ 観光 (資源が豊か) ・観光資源が豊かなので、ストーリー性を持たせて、案内できるようにする。	交通 (るんるんバス不便) ・るんるんバスの実態調査をして、生徒や高齢者が利用しやすくなる。(ルート・便数など)
◎ おいしいものがいっぱいある。 ・酒田の特産品を給食に出す。	駅前がさみしい ・駅前に交流の場をつくる
○ 観光地が多い PRの強化	空き家が多い。 民宿などにリノベーション
○ 食 酒田にはおいしい食べ物がたくさんあるからもっとPRしてたくさんの人に広めたい。	若者のUターン 若者がUターンしやすい環境をつくる
○ 港があること	コミュニティバスの使いづらさ 観光施設を周遊するルート、時間設定に特化させる。電車時間に完全に合わせ、しぼる
○ 地域のバス路線について ・バスの利用者のニーズを細かく調査 (どのバスをどのように利用したいか) して、それぞれのバスの機能をニーズに合わせて有効に生かす。	高校生の就職・進学について 地元の企業、大学などについて、学校に差別をつけずに公平に生徒に知らせ、進路の選択肢を増やす。
○ 仕事・産業 県内唯一の酒田港を最大限に活用する。 ・大型船の入航で酒田をPR ・花王などとの企業連携	福祉・健康 高齢者の医療費、介護費用の増大 ・元気な高齢者を増やす仕事や趣味、地域活動を通して生きがいを増やす。
◎ 観光できる所はたくさんある。 仕事を増やして戻ってきやすくする。	交通手段に問題があり、観光しにくい。若者が知らないことが多い。
○ 保育園から大学まで文教施設が充実。 大学院や研究施設を増やしてさらに充実させたい。	観光・産業資源が充実 活かしきれていない。単体ではなく、有機的に活用すべき
○ 人とのつながりを利用して自治会組織を強め、行政の一担をもたせる。	人口減少から労働力の縮小もあり、外国人の移民特区をつくること。
◎ 公益大がある。 ←大学生と関わる市民を増やしたい。	学校同士の交流が少ない。 ←他の学校と協力して学びやアイデアを共有できるようにしたい。
○ 美味しい食べ物 他の地域の方から知ってもらいたい。	酒田の地域交通 利用者のニーズに合った形で運行させたい。
○ 海・山・川・庄内平野がある。 中高生はもちろん、大人も仕事体験できるといい。(農業・林業・釣り・神社etc・・・)	地域活動の担い手不足 退職後や中高生だけでなく、休日に来れる地域活動を楽しむ。
◎ 自然や文化がたくさんある！ 酒田の自然や文化といったものをPRして、観光客がもっとくるような町を、そして賑わいを	住民同士のふれあいを！ コミュニティーセンターなどを活用して、高齢者の方々がいきいき暮らせる町を
○ 企業誘致 ・酒田港を活用した企業誘致の推進 (対ロシア・対中国・対カナダ)	子育て移住 ・都心からの子育て世代の移住者の増強
○ 人づくり 全ては人との関わりから 地元のつながりが深い、プライバシーとか個人情報とうるさく言うより大事にしたい。	交通手段がない
◎ 酒田に戻ってきたくなくなるような政策 定住する人が増えてきているのでさらに増やしていきたい。	酒田の賑わい 遠くから来た人を歓迎できるような町づくり

第4回 酒田市総合計画未来会議 参加者一人ひとりのキーワード (○…一般、◎…学生)

酒田の○○の「いいの」をこうしたい	酒田の○○の「あんべわりの」をこうしたい
◎ 酒田まつり・傘福 もっとPRして多くの人に知ってもらおう。酒田に来てもらう。	勉強する場・老若男女が会話できる場が少ない。 自治会館を開放する。安くて気軽に行けるところをつくる。
○ 魚の種類が多く、観光客がほとんど食べて帰る。どんどんPRする！	交通の便 電車の数が少ない。バスの数が少ない。
○ 酒田港 クルーズ船寄港による観光産業の発展。 港を活用した輸出入の拡大。 →市内企業の活性化など	若者の就職 ・一度酒田を離れても、戻ってこれるような環境を。 ・学校の先生への市内企業の周知・企業案内など ・Uターン希望者への企業ツアー
○ 観光・賑わい交流・交通（ロックタウン・イオンなど） ・人の集う場所への移動手段などを良いほうにのばしたい。	観光する所が点在しているので、初めての人でもどこに何があるのか 分かりやすく、移動手段もどの様になっている（バス等、時間）を詳 しくする。
◎ 暮らし・福祉・健康と賑わい・交流の二つの中から、「色々な公園 がある」ということを活用して、市民の子どもからお年寄りまでが幅 広く交流・活動するようにしたい。	交通からで、「バスの便が走る時間帯が均等すぎる」ということから 市民のニーズに答えて、朝から夕方などに集中的に便を走らせてほし い。
○ 酒田は本間家や山居倉庫、北前文化、北前船のことが観光として取り 上げられるが、市民の方は良く知らない。（歴史的背景）ので増やし たい！	仕事に対する、農業・漁業・企業に関する中間支援するコーディネー ターが少ない。（庄内・都会・世界の結ぶ人材）増やすべきである！
◎ 観光 山居倉庫、ラーメンなどPRできるところがあるのでもっと大きさに PR、アピールしていけばいい。	交通 少し工夫するだけで便利さが変わらと思う。酒田全面で交通利用が便 利になれば良いと思う。
○ 産業の資源が豊かにある。 →資源が産業となるような人材づくり。（起業化の支援）	高齢者などが散歩しにくい。 →歩行者に優しいまちづくり。（歩いて生活できる生活圏の形成）
○ 人と人が優しいコミュニティ（つながり） もっと市民の知識人や世話焼きおじちゃん・おばちゃんを活用。参加 してもらって世代を超えた交流・相談をして活用する。観光客へのも てなし→思い出になってリピーターになる。	交流・学習・集まれる場所がない。 駅前、中町などでゆるやかに集まったり勉強できる場がない。お金を かけないで。
○ 酒田市の中学生交流事業「つばさ」いいの 人員を増やす、機会を増やすともっといいのになる。	幼・小・中・高の一連の教育が画一的（金太郎あめと同じ） ・個性がない とびぬけた人材が出ない・生まれない
○ 酒田人 ・話し合い、教え合う機会を増やす ・実行に移すための”場”をつくる	まだまだ知らない”酒田市”がたくさんある。 ・文化・観光検定の創作。 ・ゆる〜く参加できるイベント ・深い！専門性ある講義
○ 風力発電 自然環境に配慮して積極的に再生可能エネルギーを導入する。	ふれあいの場が少ない 世代を問わず気軽に集まれる場所をつくる
○ 港・空港 人やモノなど色々な物を運んでくる手段の一つとして色々な県・国と つながりを持てるようにしたい。	学びの選択肢が少ない。 ・大学や専門学校を増やす。 ・学べるスペースをつくる
○ 駅の開発が決まった。 →酒田の玄関口として魅力ある施設としてほしい。	Uターン就職者が少ない。 →企業の情報を知ることのできるイベントを増やす。（特に大卒者向 け）
○ 観光 今あるものをフル活用してほしい。 （良いもの（施設）がたくさんあるのに・・・） 例えば・・・酒田ラーメン・山居倉庫など歴史ある施設	教育関係 ・国際（異文化）交流をもっと盛んに！ 交通 ・英語表記をもっと増やしてほしい（バス停など）外国人が困 る・・・
○ 花火大会 PRして花火の動員数を増やす （あまり増えすぎても困るが・・・）	都会で働いてきた人のスキルを活かす仕事が少ない →クリエイティブな仕事ができる環境づくりをする。市民の意識の変 化を促す
○ 災害が少ない 川に対する関心を深めるために大水害のシュミレーションを住民に映 像で見せていざというときの参考にする。	賑わいを増やす 他地区（市町村、民間団体）との交流を一方通行でなく両通行でたく さん行う。往復で行うことにより相方の交流が増える（祭り・スポー ツ・各種事業）
○ 子どもが小さいうちに近くに頼れる人がいる。 より多くの地域で相互的に助けえる環境を整える。	酒田の企業をよく知らない・企業がわからない。 就職活動に合わせて企業見学ツアーを敢行！
○ 酒田の市民の現状に合わせた町作りをして行く取り組みがある事はす ばらしい	酒田の成立ちに引きつがれた町作りの残があり、手かせ足かせで発展 しにくいです。
◎ 保育園～大学 整った教育環境 教育を受けられることへの感謝を忘れず、熱心に取り組むこと！ ・市だったり、世界だったりのこことを積極的に考えられる授業をす ること！	農業・漁業への衰退を防ぐために海外・県外・市外へもそうだけれ ど、市民へPRし、知ってもらい、人材や新しい産業へのステップに！
○ 自然が豊か（鳥海山、庄内平野、日本海、最上川） →自然を楽しめるスポットをPR！	観光案内人がいない・・・ →観光ボランティアを募る、育成する。リタイヤされた方など